

2011年 年頭にあたり

社会医療法人蘇西厚生会

理事長 松波 英寿



新年明けましておめでとうございます。

2010年は新しい政権が誕生し、誰もがよりよい社会への変革を期待した年であったと思いますが、失業率は高止まりし、新卒就職内定状況も芳しくなく現実は大変厳しい状況が続いています。また、国際的にもGDPが3位に転落するなか、中国やロシアとの領土問題やTPPへの参加問題など難題が山積しています。

このように混迷した社会の中でもっとも身近な問題は、雇用と健康の問題でしょう。雇用に関しては、依然として日本経済が発展しない中、政府は医療介護に雇用の創出を見出そうとしています。様々な補助金を用意したり、制度改革を行っていますが、医療介護が今後発展する、つまり雇用を生み出すためにもっとも重要な改革は、診療報酬の増額です。先進諸国と比較し、あまりにも低い日本の診療報酬が適切な価格に引き上げられないことには、潤沢な雇用を生み出すことはありえないのですが、景気対策とともに国債を減らさなければならぬジレンマの中、その引き上げが総医療費を押し上げてしまうため非常に難しい問題です。いったいどうしたらよいのでしょうか。

医療の世界においても無駄を省くのは当然必要でしょう。その意味において、現在、日本の津々浦々にある、世界標準と比較すると必要以上に医療設備が整った病院が、見直されるのは必要なことでしょう。一般の診療所と病院の関係も再考されるようになるでしょう。高齢化、高度医療の導入により自然に増加してしまう医療費を容認しつつ、なおかつ総額の医療費の伸びをおさえるためには、そのような見直しはやむをえないことでしょう。したがって将来、経営母体に関係なく市中病院の整理統廃合が本格的に行われる時代が来ると思います。そんなに遠くないそういった未来を見据えて、選ばれる、生き残る病院にならないと思います。総合病院を中心として、クリニック、老健、在宅ケアの連携をより密にして、この地域における責任を果たして行きましょう。

一方、より高度な医療を常にわれわれは目指さなければなりません。現状で満足してしまっただけでは、数年後には、その病院は一流でなくなってしまいます。この春より、2010年12月に導入した医療ロボット(ダ・ヴィンチ)が本格稼働します。社会の期待にこたえられるよう、よい成績を出したいと思います。本年もよろしく願い申し上げます。

2011年 新年にあたって よりよい「医療の質」を求めて

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
病院長 山北 宜由



あけましておめでとうございます。医療政策も景気の動向、国家財政によって大きく変化するのはやむを得ないこととはいえ、患者さんにとって負担がより大きくなる政策が発表され、医療費負担の問題が大きくクローズアップされてきています。

このような中、果たしてより良い「医療の質」とは何か強く問われる時代になってきました。当院では以前から①「診療の質」②「受療環境」③「職場環境」④「健全経営」に重点をおいてよりよい「医療の質」を求めてきました。これら4つの点から他院との比較、院内での経年的変化を種々のインディケータを使って比較検討して改善に努めていますが、特に①の「診療の質」につきましては、昨年から種々のインディケータで評価するため準備をしまりました。

具体的に「診療の質」のインディケータとは、「当院の外来糖尿病患者さんで、推奨されている血糖コントロールができている方の割合」、「高血圧患者さんで推奨されている血圧にコントロールされている方の割合」、また「狭心症、

急性心筋梗塞で来院された患者さんが受け付けから心臓カテーテル検査を受けるまでの時間の平均値」など90以上のインディケータを示し、当院の診療技術のレベルを具体的に示すものです。

2012年度にはまず2011年度の当院の「診療の質」のインディケータを公表し、患者さんに当院の「診療の質」の情報を開示いたします。これは情報開示という観点からも重要なことだと思います。

また、当院は、医師だけでなく、医療工学士、薬剤師、看護師、理学療法士、栄養士、臨床検査技師など多職種の医療専門職がチームを作って医療活動を重点的かつ効率的に遂行するチーム医療に積極的に取り組んでいます。さらに、昨年は3月に320列マルチスライスCT、年末にはロボット手術援護システムのダ・ヴィンチを導入し、常に最先端の医療を追い求めています。本年も地域の住民の方々に十分満足のいただける医療を提供できるように邁進する所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入にあたって

当院では、世界水準を目指したよりよい医療をここ岐阜県下において展開していこうという強い信念から、2010年12月13日、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチS」(米国インテュイティブ・サージカル社製)を導入しました。全国で14台目、県内では2台目となる最先端の手術支援ロボットです。腹腔鏡下大腸切除術に関しては岐阜県ではNo.1の外科医(日本内視鏡外科学会認定技術認定医、日本消化器外科学会指導医および専門医、日本大腸肛門病学会指導医および専門医)が最近5年間での大腸癌手術症例約340例中220例の腹腔鏡下手術を行っている実績から、まずは2011年3月をめどに直腸がんの手術から始め、順次泌尿器科などにも広げていきたいと考えています。



花粉症

耳鼻咽喉科

金子 奈穂子

専門分野:耳鼻咽喉科全般
 認定資格:日本耳鼻咽喉科学会:専門医
 補聴器適合判定医
 補聴器相談医



花粉症とは、私たちの体に備った防衛反応の一種で、体内に侵入してきた細菌やウイルス、異物を“自分の成分ではない”とみわけて排除する反応(免疫反応)が過剰になりすぎたために引き起こされる疾患です。花粉症を引き起こす代表的な植物は、スギ(2月~4月)、ヒノキ(3月~5月)、ブタクサやヨモギ(7月~10月)で、これらの花粉が抗原として体内に取り込まれることにより、抗原抗体反応を経て、炎症を起こす化学伝達物質が放出されます。そしてこの物質が、くしゃみ、鼻水、鼻づまりといった不快な症状を引き起こすのです。花粉の飛散量は、前年の夏の日射量、暑さに比例します。2011年の大垣市のスギ花粉予測飛散量は、2010年の約10倍です。また、岐阜県南部の飛散開始は2月10日~2月20日頃と言われています。花粉飛散の2週間前から内服を開始する治療(初期療法)にて、飛散期の症状軽減や症状出現時期を遅らせることが可能ですので、早めの受診をお勧めします。



1人前
260 kcal

丸藻管理栄養士が
お届けする

体にeヘルシーレシピ



松波総合病院
丸藻管理栄養士

健康的な体をつくる 野菜たっぷりトマト鍋

<材料・4人前>

トマト缶(カットタイプ)1缶(400g) 塩、こしょう……少々 ブロッコリー……1株
 にんにく……2かけ 固形コンソメ……1個 しめじ……1パック
 唐辛子…1本(お好みで) 酒……大さじ3 たまねぎ……1個
 オリーブオイル 大さじ1 しょうゆ……大さじ1 にんじん……1本
 鶏もも肉(皮なし)200g ハーブソルトか塩 小さじ1 キャベツ……1/4個
 イカ……1杯 水……400ml 水菜……1束
 ボイルホタテ…100g

<作り方>

- 鶏肉は一口大に切って塩、こしょうをする。イカの胴は輪切りにし、ゲソは2本ずつに切り分ける。
- ブロッコリーは小房に分け硬めに下ゆです。たまねぎはくし切り、しめじは根元をとり小房に分け、にんじんは輪切り、キャベツと水菜は食べやすい大きさに切る。
- 鍋にオリーブオイルとつぶしたにんにく、唐辛子を入れ、香りがたつまで弱火で炒めたら、にんにくと唐辛子を取り出し、鶏肉とたまねぎを加え、鶏肉の表面が白っぽくなるまで中火で炒める。
- トマト缶、水、調味料、にんじんを加え10分程度煮る。
- イカ、ホタテ、キャベツ、しめじを加え5分程煮て、最後にブロッコリー、水菜を加えて火をとおせば出来上がり。
※最後にご飯やかためにゆでたパスタを加えてもおいしくいただけます。

！ここがヘルシーポイント！

健康的な体をつくるためには、栄養バランスを考えた食事が欠かせません。野菜にはビタミン、ミネラル、食物繊維などの体の調子を整え、機能を正常に維持する栄養素に加え、免疫力の向上、抗酸化作用が期待できる成分も含まれています。今回はトマトやブロッコリー、水菜など緑黄色野菜をたっぷり使った栄養バランスの良い“野菜たっぷりトマト鍋”のレシピをご紹介します。

知ってトクする

大橋薬剤師の



くすりの
お話し

Q. お酒と薬を一緒に飲んではいけなくてよく言われますが、どうしてでしょうか？

A. 年末年始になると普段お酒を飲まない人でも飲む機会が増えますよね。アルコールが体内に入ると、多くの薬と同じように肝臓と腎臓で代謝(分解)、排泄されます。アルコールは百薬の長とも言われていますが、薬を飲む場合は注意が必要です。

お酒を薬と同時に飲むと、肝臓はアルコールの代謝を行うため、薬の代謝に時間がかかり、長く血液中にとどまって薬の作用が強くなり、副作用にもつながります。例えば心臓の働きを活発にする強心薬は、代謝が抑えられ、動悸、嘔気といった中毒症状を起こしやすいといわれています。寝つきをよくする睡眠薬も、アルコールと睡眠薬を一緒に飲むことで、中枢神経を抑える効果が強くでて昏睡状態になる危険性があります。他にもアルコールと一緒に服用してはいけない薬はたくさんあり、普段からアルコールを飲んでいると、薬の作用が弱くなるものもあります。お酒と薬は一緒に飲まないのが賢明です。気になる方は一度薬剤師に相談してください。薬を飲んでいなくても、お酒の飲みすぎには注意が必要です。

まつなみ Information



日本語の勉強…頑張っています!

EPA看護師候補者2名(リナさんとロスティアナさん)は、12月6日(月)より当院に勤務し岐阜での新生活を始めました。インドネシアとは風土・習慣・食生活・言葉まで違う日本での生活に戸惑っている面も多々ありますが、一日も早く岐阜に慣れ皆様方の仲間に入り込めるよう、毎日頑張っております。今後とも、皆様方の暖かいご指導応援を賜りますようお願いいたします。



人事部からの一言

院内で2人を見かけた折には、是非お声を掛けてください。きっと明るい声で答えてくれると思います。

1月の講習会・イベントのご案内

平成22年度

糖尿病教室(毎週水曜日・金曜日)

患者様向け

日時 毎週水曜日と金曜日 13:00~14:00
場所 5階ティールーム(スタッフステーション前)

※注意事項

事前申し込みや参加費は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加ください。基礎コース開催時は5階の教室は開催されませんのでご了承ください。内容は変更となる場合があります。

糖尿病教室 冬の入門コース開催概要

患者様向け

日時 平成23年1月22日(土) 14:00~16:00
場所 松波総合病院 3階講堂

テーマ1 『糖尿病についてとその治療法』松波総合病院 副院長 林 慎先生

テーマ2 『今年こそ! 食事療法で血糖改善』松波総合病院 管理栄養士

参加費 無料

※注意事項

事前申し込みや参加費は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加ください。

平成22年度 糖尿病教室(毎週水曜日・金曜日)の日程

曜日	週	内容	担当
水曜日	第1週	糖尿病薬の飲み方と留意点・インスリン注射手技	薬剤師
	第2週	糖尿病の合併症・フットケア・口腔ケア	看護師・歯科衛生士
	第3週	糖尿病のメカニズムを知ろう	医師・薬剤師
	第4週	継続できるセルフケアのコツ	医師・看護師
	第5週	日常生活の工夫・血糖自己測定	医師・看護師
金曜日	第1週	食事療法で一番大切なこと	管理栄養士
	第2週	うまかつぎあう間食と外食	管理栄養士
	第3週	減塩の工夫	管理栄養士
	第4週	今日から始める運動療法	理学療法士
	第5週	食事療法について本音で語ろう	管理栄養士

かかりつけ医院のご紹介

羽島郡 笠松町の 岩村医院

内科 小児科 眼科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	◎	○	◎	○	◎	○
午後 4:30~7:00	◎	○	○	○	◎	—

◎:眼科診療日 一:休診

休診日 日曜日・祝日

〒501-6065

羽島郡笠松町門間1270

☎ 058-387-0180

FAX 058-387-4085

院長: 岩村 信之(内科・小児科/循環器専門医・内科認定医)

医師: 岩村 百合子(眼科/眼科専門医)

内科は、特に心臓と血圧、肺の病気や糖尿病に力を入れて診療しています。

眼科を併設しています。眼科診療日は、月、水、金です。



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。

社会医療法人 藤西厚生会

松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町門間185-1